

第5次有田市長期総合計画・後期基本計画（素案）パブリックコメントの結果について

1. 意見の募集期間：令和7年1月24日（金）～令和7年2月7日（金）まで
2. 意見の提出者数：3名
3. 意見の内容及び意見に対する回答

No	意見	回答（本市の考え方）
1	有田衰退の根源である人口減を食い止める政策として企業誘致、現産業の充実、子育て支援の充実が大きな施策だとは思いますがそれとは別に、今の若者は結婚しない、あるいはしたくてもできない、1人の方がいい等の独身者が多いように感じます。昔であれば近所の仲人をお願いしてお見合いとかあったのですが、今は皆無です都会であればアプリで知り合うこともできますが田舎は難しいのが現状です。そこで、市として結婚相談所のような窓口を設けるとか、市とは別に相談所を新たに作る手助けする、支援するとか、結婚すれば手当出ますとかできないのでしょうか？	ご意見をいただきありがとうございます。 市では結婚への支援として、令和3年より新婚夫婦を対象とした応援結婚新生活支援補助金を創設し、新居の住居費や引越費用を補助することで婚新生活のスタートを応援しています。これからも結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を継続し、魅力あるまちづくりを目指して、人口減少を抑えるべく取り組んでまいります。
2	高齢者福祉については具体的なことは書かれていないように感じます、認知症の世話は本当に大変です、地域で見守る体制の充実を切に願ってます。	ご意見をいただきありがとうございます。 認知症になっても、尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる「共生社会」の実現が求められています。そのために市では、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る「認知症サポーター」の養成に取り組んでいます。 また、今年度は、認知症の人の悩みや家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みであるチームオレンジ1か所の設置に取り組んでいます。今後、このチームオレンジの活動内容の充実を図りながら、他地域への設置拡大にも取り組んでまいります。
3	(結論)下記内容で、本素案に重大な疑義が認められる。2章の「有田市の主な現状と課題」の中の資料として「3産業・経済の状況」があり、(P12)産業没業者数(P13)農水産業の基本指標(P14)観光客入込客数が記述されています。その件にまず懸念事項があります。懸念事項①:この中には第一次産業(14.9%)の資料しかない。また懸念事項②として、その一次産業の経済指標(例えば売上や利益率)が表現されていない(例えば漁師の状況が全く見えない)。また分析・評価結果が皆無である。そして、結果として懸念事項③として、だれでもわかることですが、上記のインプット情報とその分析・評価を記述せず、アウトプットとしての「第2部基本構想や第3部後期基本計画」を作成していますが、「砂上の楼閣」としか言えない資料になる可能性が高いと判断されます。結論ありきの資料に見えます。(もしバックデータがあるのであれば、少なくともその概要と分析・評価結果を記述してください。)提案として、下記の作業を行い、その成果を追記してから「第2部基本構想や第3部後期基本計画」を作ってください。コンサルタントの力だけでなく、ご自分達の智慧を結集し、「インプット情報と分析・評価結果を含んだ資料」を作られることを切に願います。何卒、よろしく願います。	ご意見をいただきありがとうございます。 いただいたご意見を参考に一部指標を追加します。

No	意見	回答（本市の考え方）
4	<p>下水政策について、具体的な内容を示して下さい。防災の観点もしっかりと入れて、専門家にも話しを聞いてください。合併浄化槽が進めるとしても、集合処理などの方法もあります。具体策が全く聞かれず、このまま何十年も垂れ流し続けるのは、倫理的にも問題を感じます。垂れ流した水は、長い年月をかけて地下水になるでしょう。飲み水や、作物、海産物への影響も出るのではないかと危惧します。また、豪雨災害時に、汚水が川から出てしまい不衛生です。また、下水施設か浄化槽かの議論は、下水管や槽廃棄時のゴミの問題の観点も必要ですので、必ず入れてください。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。  現在市では、公共下水道を整備していないため、し尿・生活排水を合併浄化槽で処理することが一番の水質改善につながります。合併処理浄化槽の設置を進めるにあたり、個人負担の軽減を目的とし、浄化槽の設置にかかる費用や、配管工事にかかる費用に対する補助、既存便槽の撤去においては単独処理浄化槽の撤去費用への補助の増額や、くみ取り便槽の撤去費用への補助を新たに設け、既存便槽の撤去を進めています。これからも浄化槽の適正な維持管理を進めながら、生活排水の水質の向上に取り組んでまいります。</p>
5	<p>防災に力を入れて下さい。広域避難計画、避難所のエアコン導入など。トイレの備蓄も、全く足りていません。災害廃棄物処理計画の公表もしていませんし、事前復興計画もまだ出来ていない状態です。前者については、早急に公表してください。そもそも出来ているのでしょうか。このままでは、ブラッシュアップすらできない状態です。他の自治体は、トイレトレーラーや大きな備蓄倉庫を作っています。事前復興計画も作って、ブラッシュアップにも言及している自治体もあります。それから、本当に、広域避難計画を早急に進めて下さい。洪水時、逃げ場がないことは明らかです。近隣の市町村及び、県と話し合う場を設けることについて、有田市が積極的に動いてください。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。  市では、防災対策の強化を重要課題と認識しており、事前復興計画や避難所の環境整備に向けた取組を進めております。  ご指摘いただいた課題に対しても引き続き取り組み、より安全なまちづくりを進めてまいります。今後とも、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
6	<p>有機農産物の振興策を考えて下さい。また、持続可能な漁業についても議論をお願いします。マリンエコラベルなどの認証制度もあります。その制度が本当にちゃんとしているかどうか議論が必要です。私もそこまで詳しくないので、有機が何故必要かについては、第2次有田市都市計画マスタープラン（素案）パブリックコメントにて、以前送ったのでお読みくださると助かります。今回の都市計画（p.60）にも、有機や環境負荷の低い農業に対しての言及がありませんでした。農業の環境負荷低減については、日本でも最近聞かれるようになりましたが、世界的には随分前から当たり前のことで、日本よりもずっとずっと進んでいます。今回も記載がないことに驚いています。市も、みかんの見た目や味ばかりに目が行っていますが、大事な価値観は他にもあります。市はそれを啓発する立場にあると思います。環境を守ることは、公益性のあることですので。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。  持続可能な漁業については、船びき網漁業がマリンエコラベル認証を取得しております。アワビ及び鮎等の放流に対する補助など、市としても引き続き持続可能な漁業に努めてまいります。  また、本市の基幹産業であるみかん栽培において有機農業に取り組むことは、メリット・デメリットの双方がございます。  市としましては、農業者自らがリスクなどを鑑み、栽培方法を選択し、有機栽培等に取り組むことに関しては、国補助事業等を活用して交付金を交付してございますが、有田みかん産地全体としては、JA・県との連携のもと、農業振興に努めておりますので、ご理解願います。</p>

No	意見	回答（本市の考え方）
7	<p>デジタル推進ですが、きちんと精査してください。今行なっている事業でも、要らないのでは、と思うものがいくつもあります。また、あったら便利なものでも、無くてもどうとでもなるようなものも多いです。予算には限りがあるので、優先順位をきちんとつけてください。命を守るための事業にもっと割いてください。それから、デジタルデジタルという割には、本当に必要な広報に、HPやSNS、メールを全く活用しないのはおかしいです。新ごみ処理施設の説明会の告知も、「閲覧板だけ」だけという、前時代的なやり方をとっていました。「お金にならないデジタルは活用しない」ということでしょうか。公共としておかしいです。国がデジタルを推進するのは、経済活性化が大きな目的（の1つ）だと私は思っています。アプリを導入すれば企業が儲かります。市として安易にならず、公共という倫理観をしっかりとって何が大事かを精査してください。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>デジタル推進に関しては、ご指摘のとおり、限られた予算の中で優先順位を明確にし、必要な事業にリソースを集中させることが重要であると考えております。</p> <p>現在、市ではデジタル化や情報発信の強化を図るため、ホームページやSNSを活用した広報活動を進めています。今後も、住民の皆様に対して必要な情報を迅速かつ正確に提供するため、様々なツールを活用できるよう取組を進めてまいります。</p>
8	<p>健康作りについてですが、行政が踏み込み過ぎです。そこまでなくていい、ほっといてくれと思います。スマートフォンで健康作り、など優先して予算と労力をかけるものではないと思います。健康増進は大事ですが、公共は公共にしかできない仕事ももっとあります。また、スマートフォンの件もそうですが、「産官学協同」と言う名のもとに、えみくるなど、民間に利益が回る構造を作っていると感じます。その数十億円、防災に回せば、どのくらいの命を助けられたらどうかと苦々しいです。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>健康づくり施策について、ご懸念の声をいただきました。健康増進は個人の自由な選択に関わる部分も大きいと、行政としても必要以上に踏み込み過ぎないように留意しております。その一方で、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸は、医療費の抑制や地域の活力維持にもつながる重要な課題であると考えております。</p> <p>スマートフォンを活用した健康づくりの施策につきましては、運動習慣の定着を目指して、多くの方に手軽に参加・継続できる利便性を考慮したもので、引き続き進めてまいりたいと考えております。しかし、ご指摘のように、行政には行政にしかできない役割があることも認識しております。いただいたご意見は、今後の施策の優先順位や進め方についての参考とさせていただきます。</p>
9	<p>マリーユの39歳以下の年齢制限は、人権上問題があると思います。憲法違反ではないでしょうか。このような形で少子化対策をするのは間違っています。「産めよ増やせよ」のような感じがします。親ではなく、生まれた子どもに支援するべきでは。何より、まずは、安心して暮らせる社会を作らないといけないのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>結婚支援事業「Marry You」の中でも、結婚新生活支援事業と結婚祝贈呈事業については39歳以下と年齢制限を設けておりますが、こちらは国の補助対象要件を基準とし、転出傾向の高い30代以下の若者世帯の定住促進と、結婚して有田市に住み、出産へ繋げてもらう少子化対策の強化という2つの観点から、若い世代を重点的に応援する考えです。</p> <p>なお、「Marry You」制度は結婚から妊娠・出産、子育て、子どもの自立と一体的に支援していく取組で、スマイルチケットや出産支援事業等は年齢制限を設けておらず、市民の皆様全員にご活用いただけるものとなっております。</p> <p>いただいたご意見を参考にさせていただき、市政に取り組み、安心して暮らせる社会づくりを推進してまいります。</p>

No	意見	回答（本市の考え方）
10	いじめ対策について、寝屋川市のいじめの監察課を視察してください。	ご意見をいただきありがとうございます。 寝屋川市のいじめ対策については以前から認識しています。今のところ視察は考えていませんが、有田市においてもいじめ問題の解決のため、必要に応じ参考にしたいと考えています。
11	市民病院の指定管理について、もっと説明をお願いします。協定の内容も不十分です。公の意志がどこまで反映できるのかの説明もありませんので、もっときちんと示してください。大事な決断を公の意志でできないとしたら、やはり問題です。指定管理料の積極的な広報をお願いします。内訳も。また、医師が足りていないと聞きました。原因はなんでしょう。そもそも市民への十分な説明なく、中身もふわっとした状態で、指定管理に踏み切ったことはおかしいと思います。また、「赤字」を理由の1つにあげていましたが、「赤字ではなく必要経費」という考えで良いのではないのでしょうか。病院はインフラ的なものです。それに、赤字赤字という割には、当時も指定管理にかかる金額を積極的に広報していませんでした。そこはしっかり言うべきではないのでしょうか。	ご意見をいただきありがとうございます。 指定管理者の説明としまして、市立病院として地域住民が安心して医療を受けることができる体制を安定させるには、医師、医療従事者確保が重要ですが、現状は医師、医療従事者の確保が難しい状態であり、業務環境の改革や医療従事者の養成などを考えていた際、公益社団法人地域医療振興協会と指定管理についての協議を行い、指定管理者選定委員会で選ばれたため、運営を委託したものです。公益社団法人地域医療振興協会は、全国の国公立病院等の指定管理及び直営病院・介護施設等を83施設、6,679病床を運営し、地域医療の確保と質の向上に努めている法人です。病院運営を考えると、全国で病院運営を展開している地域医療振興協会のスケールメリットを生かし、薬品費・材料費などでの不要なコストを抑えることができ、結果的に赤字体質であった公立病院が健全な運営に変わっていくことで今までと同様の医療機能のみならず、さらに進んだ医療を提供できるものと考えております。 また指定管理料というものはありません。市からの政策的医療として、救急医療、感染症等の医療、小児医療、へき地医療、災害時医療を重点的に進めていくことが指定管理の条件になっており、政策的医療交付金として2億5千万円を交付しています。ホームページでも予算・予算説明書を公開しています。
12	市民病院の災害へのリスク対策がよく分からないので、もっと広報してください。また、建設前に市民と議論の場を設けるべきだったと思います。どういう対策が必要か、どういうものがあったら良いかなど。みんなの命がかかっている施設です。	ご意見をいただきありがとうございます。 災害対策については災害が起こった時のため、東南海、南海地震等に備えた訓練を実施しており、災害時におきましても、公立病院の責務を全うしていくことが重要であり、率先して対応に当たります。広報ありだで能登への災害派遣の様子を掲載し、活動内容を報告しております。 建設中の新有田市立病院については、大地震発生を見据え本体部分を免震構造とし、被害を最小限に抑え人命の安全と早期の診療開始を実現します。また、診療機能や設備機能は浸水に配慮し、2階以上に計画し、記録的な降雨などによる浸水に備えます。さらに災害拠点病院として防災ヘリの離発着ができるヘリポートや、第二種感染症指定医療機関として新興感染症にも対応できる構造を備え、また国道42号線からダイレクトにアクセスできるようになっています。 広報1月号に「未来につなぐ『医療の安心』」として記事を掲載しておりますが、ご意見のとおり今後も広報を図っていきたいと考えております。

No	意見	回答（本市の考え方）
13	<p>マイナンバーカードを“推進だけ”するのは止めてください。リスクの大きな事業です。作りたくない人もいますので、リスクをきちんと伝えないまま、公共がごり押しのように進めていく姿勢に疑問を感じています。休日開庁などに予算と労力を割かずに、他の仕事をしたいです。また、作りたくない人に対しての情報発信がなさすぎます。作らない場合はどういう対応があるのかも、きちんと発信すべきです。任意のカードですから。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 マイナンバーカードは、市民の方からの申請により交付されるものであり、ご意見のとおり申請については任意ですので、市民の方へはその旨を説明しています。また、健康保険証の廃止等に関する問い合わせに対しても、必ずしもマイナンバーカードを持つ必要がないことを説明しています。今後も引き続き丁寧な説明に努めてまいります。</p>
14	<p>教育現場に「議論」を導入してください。教育については、学力学力・知識知識ばかりだと感じています。日本の教育に欠けているのは、「議論」をすることです。民主主義への理解が浅いのは、教育の段階で組み込まれていないことも大きいと思います。民主主義の基本は、議論です。解決すべき事柄があるとき、自分の意見を伝え、相手の話を聞いて、議論を通じて、解決していく。本当に必要な力です。また、議論をすることで、より良い解決策も出てきます。より良い社会を作る基礎の力という点で議論教育が必要だと思います。我々大人にもだと思えます。あと、ドバイの研修はやめてください。ドバイの良い面だけ見て、それだけを教えるのは教育的にも間違っています。あと、中東は今危険な状態です。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 ご指摘のとおり、これからの社会では、自分の意見をしっかりと伝え、周りの人の意見もよく聞いて、みんなでより良い答えを見つけていくことが大切であると考えます。 今学校では、発達段階に応じて、授業や学級活動の中で、子どもたちによる話し合いができる機会をつくっています。今後も引き続き、子どもたちが当事者となり、目的や場面に応じて色々な意見を出し合って話し合えるような授業づくりに努めてまいります。ドバイの研修は、内閣官房万博国際交流事業として行っています。子どもたちの相互交流を通じて多様な文化や考えを理解するとともに、地球規模の課題や、ドバイと日本（有田市）の抱える共通の課題等を理解し、ひとりひとりの大切な命が輝く未来を切り拓く人材を育成することを目的としています。さらにこの交流が自らの行動の転換点となり、自身の成長に繋げていくことを期待しています。今般の中東情勢について、国が出している海外への渡航に関する情報もとに安全面について十分検討しつつ、今年度の実施に至っています。</p>
15	<p>ネットリテラシーを育む教育をお願いします。クリティカルシンキングの教育（批判教育）も。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 児童生徒の発達段階に応じて実施しています。批判的な読みについては、学習指導要領上、中学校の3年生の国語科において指導することになってはいますが、文章を対象化して、吟味したり検討したりしながら読む体験は児童生徒の発達段階に応じて取り組んでいます。</p>
16	<p>人権について、市役所自体の理解が不十分だと感じています。作っている動画も、不適切だったり、不快なものもあります。職員さんが人権の研修会に参加したり、市でも定期的に職員向けの講習会を開いたりしてください。もちろん、市民にも。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 市では人権啓発指導者養成研修会を年2回開催し、職員も参加しています。また、その他にも研修会に参加する機会がありますので、積極的に参加するように努めています。市民の方向けには、人権啓発市民のつどいを開催し、自己啓発していただく機会を提供しています。今後も引き続き研修の充実にも努めてまいります。</p>
17	<p>観光業の振興の項目中の「インバウンド誘客と受入環境整備を進め、その後も多言語観光ポータルを軸としたデジタルプロモーション」とは何でしょうか。また、変なお金を使わないで欲しいなと思います。観光ポータル「VISIT ARIDA」とか。導入前に費用対効果もきちんと出してください。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 全国的に訪日外国人観光客が急増しているなか、インバウンド需要を取り込むことが重要となっており、有田市でも観光商品の造成や多言語でのプロモーションに取り組んできました。 ご指摘のとおり費用対効果の検証は重要であり、観光消費額の分析等を行うことで、今後の政策に反映していきたいと思えます。</p>

No	意見	回答（本市の考え方）
18	<p>市民にとって大事な情報が発信不足です。例) ごみ処理施設など。エンジン01はものすごく広報したのにおかしいです。ごみ処理施設の方が大事ですよ。広報、HP、X、youtube、メール、ライン、市は色々なツールを持っているのですから、しっかりと活用して、届くように発信してください。また、デジタルを使わない人もいますので、公民館などの地域の場に、掲示することも必要だと思います。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 市では市民の皆様にとって必要な情報を適切にお届けできるよう、広報紙、LINE等さまざまな手段を活用し情報発信に努めています。ご指摘いただきましたとおり、今後も必要な情報を的確に発信できるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>
19	<p>p.70 危機管理 「特に「自助・共助」の重要性を啓発します」 自助・共助言い過ぎです。もちろん大事ですが、まず、公共が公共としてやるべきことをしっかりやらないといけません。防災は、人権の問題です。人の命と尊厳が最大限に守られる状況を作るのが公共の役目です。公助をしっかりとさせることが、最大限に命を守ることに繋がるんです。「まず自助・共助だ」のような言い方はやめてください。公の目標値を高く設定し、公がやるべきこと可視化する、それでも回らないことを明確化させるところからではないでしょうか。とりあえず、スフィア基準を達成するくらいはしなくてはなりません。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。 防災は市の重要な責務であり、公助の強化を進めてまいります。しかし、大規模災害時には行政対応に限界があるため、自助・共助の力も不可欠です。市としては、避難所環境の改善や備蓄の充実などの強化を進めるとともに、市民の皆様にも備えの大切さを引き続き啓発していきます。 また、スフィア基準なども参考にしながら、引き続き、安全なまちづくりに取り組んでまいります。</p>
20	<p>パブリックコメントは、「誰でも」送れるようにしてください。匿名も可で。個人情報への危惧から送れない人もいます。また、市外の人であっても有田市にとって良い意見はあるでしょう。そもそも本人確認をしていないので、名前・住所を必須にしても実効性がないです。有田市かどうか知りたいということであれば、「市内、市外、その他」などのチェック項目を作れば良いと思います。</p>	<p>いただいたご意見は今回の「意見を募集する案件（第5次有田市長期総合計画・後期基本計画）」と直接関係はありませんが、今後の当市行政の参考にさせていただきます。</p>
21	<p>施設建設や事業について、もっと市民にしっかり説明することや、議論の場を作って下さい。市民を置いてきばりにした行政だと感じています。新ゴミ処理施設や認定こども園がその最たる例です。それから、事業費などの内訳の公開、及び、広報、HPやX、パンフレットなどで、事業を伝えるときは、事業費もしっかりと記載してください。主権者は市民なので、行政には、知らせる義務があります。また、説明会の広報も弱く、告知も当日の2週間前など、非常に遅く、伝えようとする意志が感じられません。</p>	

No	意見	回答（本市の考え方）
22	<p>施設などを建設する際は、環境負荷についての議論を必ず入れてください。そして、どう いう議論があったのかを透明性をもって市民に公開すること、また、市民参加の議論の場 を設けること。それから、「施設などの建設時は、環境負荷についての議論を必ず入れ る」ということを条例化してください。BIGスマイルパークも、認定こども園も、新 ゴミ処理施設も、環境についての議論がしっかりとされたとは思えません。例として、 パークとこども園ですが、人工芝ですが、そこについての議論が全くなかった。人工芝は マイクロプラスチックによる環境汚染、及び、空気中に浮遊するそれらを吸い込むこと による人体への影響が取りだたされています。また、えみくるARIDAの消費電力についても 議論はありませんでした。環境問題については、市の知識不足と、何より意識不足を感じ るので、市民参加の議論の場を設け、市民からも意見を募るようにしてください。議論が 深まれば、理解が深まり、良い施策へと繋がります。</p>	<p>いただいたご意見は今回の「意見を募集する案件（第5次有田市長期総合計画・後期基本 計画）」と直接関係はありませんが、今後の当市行政の参考にさせていただきます。</p>
23	<p>市の施設全体に言えることですが、事業が本格的になる前に、災害リスクとその対策（防 災機能）、環境負荷や環境対策、その他を市民と話し合う場を設けてください。市の案 は、あまりにも考えられていないですし、また、勝手に決まって勝手にできる感じがし て、すごく困っています。将来の世代に対して無責任なものが次々とできて、心が重い です。</p>	
24	<p>市政や市の職員に対しての苦情対応をしっかりとお願いします。良い職員さんも、もちろ んいらっしゃる一方、とんでもない対応の人もありますし、ハラスメントについての理解が ない職員さんもありました。そういったことを、市に伝えても、きちんと対応されていると は思えません。組織の機能の問題だと思うので、きちんと改善されるよう、組織として体 制を整えてくださるようお願いします。市政や職員に対する苦情や意見を受けた場合、ど うするか、どう声を生かすかの具体策をお願いします。ハラスメントについて、理解して いない職員さんがいるので、そうした人には個別の講習を、また、市全体でも講習会を定 期的に設けてください。</p>	
25	<p>市へのメールでの問い合わせについてですが、一年以上前から、「匿名の人は返信不可」 という対応が取られています。名前、住所が必須などは、おかしいので早急に変えてくだ さい。そもそも、本人確認をしないのですから、正当性がありません。個人情報への危惧 があります。それで送らない人もいるでしょう。市が垣根を上げてどうするのしょう か。電話なら匿名でもOKというのも矛盾しています。道理的にもおかしいですし、公共 の在り方としても、非常に問題です。</p>	

No	意見	回答（本市の考え方）
26	<p>新ごみ処理施設については、なぜあの場所でないといけなかったのか、経緯の説明をお願いします。不十分です。災害リスクが激しい場所です。当然、疑問が湧きます。また、リスクに対するの把握が甘いと感じます。そこが不十分だと、リスクに対する対策が打てず危険です。リスクの具体的な説明と対策についての詳細な説明もないので、お願いします。液状化は本当に大丈夫でしょうか。危険性を深く掘り下げていないと思います。また、事業費の概算は出ていますが、土地のかさ上げする高さは決まっていないとのこと。内訳はどうなっているのでしょうか。業者に試算をお願いする際、浸水深6m超えの場所であるということや、最低限必須の高さを相手に示さなかったのか。何を入れてのその価格なのか、疑問です。費用の中身を公開して下さい。</p>	<p>当該施設は有田周辺広域圏事務組合において進めている事業であり、いただいた意見は今回の「意見を募集する案件（第5次有田市長期総合計画・後期基本計画）」と関係ないため、回答は控えさせていただきます。</p>